

令和5年度施策評価シート



ア 施策の概要										
まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防					担当部局名	建設部			
施策番号・施策名	4-1 快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出					担当課所室名	都市計画課			
現況と課題										
<p>①人口減少、少子高齢化が進行中、都市機能や居住機能がもたまって立地する持続可能なまちづくりを推進する必要があります。また、公共事業・土地取引の円滑化及び災害時の早期復旧等を図るため、地籍調査を推進していく必要があります。</p> <p>② J R新居浜駅の北側は、面的整備が施行され、あかがねミュージアムを核とした一定のにぎわいが創出されていますが、飲食店等の商業サービスが少なく、さらなるにぎわいの創出が必要とされています。一方、J R新居浜駅の南側は、木造住宅の密集や過小な公共空間(道路、公園)、用途白地地域が存在しており、基盤整備や適正な土地利用を図る必要があります。</p> <p>③公園利用者の多種多様なニーズに対応した公園・緑地の整備が必要となっています。また、公園施設の老朽化が進行し、公園利用者の安全確保と施設の延命化が必要となっています。</p> <p>④インフラ整備や生活様式が変化する中、地域の特徴的な景観が損なわれることが無いように、魅力あるまちづくりを推進していく必要があります。</p>										
イ 成果指標						※上段；目標値 下段；実績値				
指標名	単位	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	進捗状況	
人口に対する居住誘導区域内人口の割合	%	40.4	44.3	44.3	44.3	44.3	44.3	44.3	B	
			40.4	40.5	40.5					
駅周辺のにぎわいに対する市民満足度	%	16.9	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	D	
			15.7	15.7	13.7					
公園利用者数（滝の宮公園）	万人	18.6	19.0	19.4	19.8	20.2	20.6	22.6	B	
			19.6	21.1	21.1					
都市景観に配慮したまちづくりに対する市民満足度	%	12.7	38.7	38.7	38.7	38.7	38.7	38.7	D	
			15.0	15.0	13.5					
ウ 投入コスト										
総事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計				
	223,873	191,910	222,408			638,191				
エ 施策評価										
項目	評価コメント									
a 指標分析（指標目標にむかっているのか）	<p>「人口に対する居住誘導区域内人口の割合」については、微増ではあるものの目標には達していない。「駅周辺のにぎわいに対する市民満足度」については、評価が悪化している。「公園利用者数（滝の宮公園）」については、整備も進み増加傾向にある。「都市景観に配慮したまちづくりに対する市民満足度」については、市民の評価は下がっている。全体としては、指標目標に向かっている項目とそうでないものがあり、定量的な数値では目標に向かっているが、アンケート等で現れる市民の心象部分では届いていない。</p>									
b 基本計画毎の事務事業構成の適正性(施策意図を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か)										
①	4-1-3	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備								
	取組方針			評価コメント						
	<p>・幅広いニーズ（子ども向け、高齢者向け等）に応じた公園緑地の整備を推進します。</p> <p>・安全・安心な公園緑地を長く大切に使えるよう適正な維持管理を実施します。</p>			<p>滝の宮公園において、大型遊具、日本庭園等の整備が完了し、来園者の増加に繋がっている。また、公園施設の老朽化対策として、長寿命化計画に基づき、更新、補修を実施し、公園利用者の安全確保、施設の延命化を図るとともに、公園樹木等の適正な維持管理を実施している。市民の公園利用に対する幅広いニーズに応じ、安全な利用を確保するためには、当該事業の構成は妥当と考える。</p>						

	4-1-2	J R新居浜駅周辺における都市拠点の形成	
	取組方針		評価コメント
②	<ul style="list-style-type: none"> ・JR新居浜駅の周辺において、都市基盤の整備を推進します。 ・JR新居浜駅周辺のさらなるにぎわいの創出に努めます。 		新居浜駅南地区は、土地利用の変更を行い、用途地域の近隣商業地域へ位置づけた。よって、新居浜市立地適正化計画で都市機能誘導区域として位置づけをしている駅周辺地区は、適正な土地利用が図られ、一体的な利用が推進されることが期待される。
	4-1-1	計画的な土地利用の推進	
	取組方針		評価コメント
③	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体としてコンパクトで魅力と活力あるまちづくりを推進します。 ・市街地のスポンジ化、無秩序に開発が進む役割を抑制します。 ・第7次国土調査事業十箇年計画に基づき、地籍調査を推進します。 ・長期的な視点での荷内沖の活用方策について引き続き検討します。 		新居浜市立地適正化計画の見直しを行い、コンパクトで魅力あるまちづくりの形成を推進する都市機能誘導施設を追加した。集約型都市形成の構築を図るため、立地適正化計画における届出制度を活用し、居住及び都市機能の立地誘導を図っている。
	4-1-4	良好な景観の保全・創出	
	取組方針		評価コメント
④	<ul style="list-style-type: none"> ・別子銅山関連の近代化産業遺産群をはじめ、地域独自の自然、歴史、文化に根ざした景観の保全と創出を図ります。 ・地域の活性化に資するよう、市民、事業者、市が連携・協働して一体的に取り組みます。 		令和3年4月から新居浜市景観条例を施行し、地域の景観と保全を図りながら魅力なるまちづくりを推進している。よって、当該事業は妥当と考える。
c 総合評価(施策の進捗状況と今後の展開、事業の見直し等)	進捗状況		「計画的な土地利用の推進」、「誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備」については目標達成に向けて推進している取組めだが、「JR新居浜駅周辺における都市拠点の形成」や「良好な景観の保全・創出」については、成果が得られなかった取組みもある。評価には時間を要する案件もあるため、今後も継続して快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出に向けて取り組む必要がある。
	C		

進捗状況	A	B	C	D
	順調に進んでいる	概ね順調に進んでいる	やや遅れている	非常に遅れている

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-1 快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出

指標名	人口に対する居住誘導区域内人口の割合					
	単位 ; %					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	44.3	44.3	44.3	44.3	44.3	44.3
年度目標	40.4	44.3	44.3	44.3	44.3	44.3
実績値	40.4	40.4	40.5	40.5		

人口に対する居住誘導区域内人口の割合

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

指標名	駅周辺のにぎわいに対する市民満足度					
	単位 ; %					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2
年度目標	16.9	36.2	36.2	36.2	36.2	36.2
実績値	16.9	15.7	15.7	13.7		

駅周辺のにぎわいに対する市民満足度

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-1 快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出

指標名	公園利用者数（滝の宮公園）					
	単位；万人					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6
年度目標	18.6	19.0	19.4	19.8	20.2	20.6
実績値	18.6	19.6	21.1	21.1		

公園利用者数（滝の宮公園）

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

指標名	都市景観に配慮したまちづくりに対する市民満足度					
	単位；%					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	38.7	38.7	38.7	38.7	38.7	38.7
年度目標	12.7	38.7	38.7	38.7	38.7	38.7
実績値	12.7	15.0	15.0	13.5		

都市景観に配慮したまちづくりに対する市民満足度

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

令和5年度施策評価シート



ア 施策の概要										
まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防					担当部局名	建設部			
施策番号・施策名	4-2 道路の整備					担当課所室名	道路課			
現況と課題										
<p>①広域交流幹線道路である国道11号の渋滞を緩和するため、11号新居浜バイパス全線の供用にむけて整備を促進する必要がある。また、貨物車と乗用車の混在などによる交通渋滞が発生するなど、道路整備が不十分であることから、安全・快適な通行に支障が生じているため、都市の骨格を構成する市域内幹線道路の整備が必要である。</p> <p>②身近な生活道路については、舗装や橋梁などの道路施設の老朽化が進んでおり、維持管理コストが増大するとともに、安全・快適な通行が確保できない可能性があるため、計画的な整備及びメンテナンスが必要である。また、大地震発生時において、緊急輸送路や避難路を確保できるよう、市道の耐震対策の推進が必要である。</p> <p>③市内の道路には、歩行者や自転車、自動車の利用上、危険な箇所が多数あり、特に、通学路等の児童や幼児への安全対策が不十分であるため、安全・快適な通行が確保されるよう交通安全施設の整備が必要である。</p>										
イ 成果指標						※上段；目標値 下段；実績値				
指標名	単位	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	進捗状況	
都市計画道路整備率	%	57.7	59.1	60.5	61.8	63.2	64.6	64.6	A	
			61.8	66.7	67.1					
橋梁補修数	橋	13	13	18	42	61	87	87	B	
			13	18	35					
交通事故発生件数	件	271	270	260	250	240	230	220	A	
			250	218	148					
ウ 投入コスト										
総事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計				
	840,415	844,394	913,549			2,598,358				
エ 施策評価										
項目	評価コメント									
a 指標分析（指標目標にむかっているのか）	都市計画道路の整備は着実に進んでいる。橋梁の補修については、工事実施時期が農閑期に限定されるため予定通りには進まなかった工事もあったが、工事の目的は立っており前進している。交通事故発生件数は、成果指標の目標値に対し大幅な成果が出ている。									
b 基本計画毎の事務事業構成の適正性(施策意図を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か)										
①	4-2-1	幹線道路の整備								
	取組方針			評価コメント						
	<ul style="list-style-type: none"> ・11号バイパス全線の早期供用に努めます。 ・交通渋滞の解消及び通行の安全確保を図り、快適かつ計画的なまちづくりを進めます。 			国道11号新居浜バイパス（西喜光地町から本郷一丁目）及び都市計画道路西町中村線（11号バイパスから滝の宮橋）が令和6年4月27日に同時開通することとなった。当路線は市内中心部に位置することから、開通後は市内の渋滞緩和に大きく寄与することが期待されている。また、市道においても、松の木東雲線が令和6年2月20日に開通した。本路線では、小学校前に歩道が整備され、通学する児童などが安全で快適に通行できる空間が確保された。						

	4-2-2	生活道路の充実	
		取組方針	評価コメント
②		<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の効果効率的な補修、改修を推進します。 ・利便性向上のために生活道路の適正な整備を図ります。 ・地域との協働による効率的な維持管理に努めます。 	橋梁長寿命化修繕計画に沿って、老朽化した橋梁の維持管理を実施するとともに、定期的な橋梁点検を実施している。また、生活道路については、市民生活に最も身近な道路であり、安全な通行の確保のため、舗装や側溝等の維持修繕についても適切な管理に努めている。現在、道路施設の老朽化が進み、修繕要望の件数も増えているが、今後においても、市民要望を踏まえ、優先順位を付けて、生活道路の改良を推進するとともに道路ストックの適切な維持管理に努めていく必要がある。
	4-2-3	道路交通安全対策の推進	
		取組方針	評価コメント
③		<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者や自転車の安全で快適な通行空間の整備を推進します。 ・公安委員会など関係機関と連携し、交通安全対策を推進します。 	安全で快適な自転車利用空間の創出のため、国、県、警察等の関係機関と連携を図りながら、自転車通行帯のカラー化や路面表示による通行位置の明示を進めている。また、通学路安全対策連絡協議会や市民の要望により、カーブミラー、転落防止柵の設置等、安全対策を実施しており、今後も安全で快適な通行が確保されるよう事業を継続していく必要がある。
c 総合評価(施策の進捗状況と今後の展開、事業の見直し等)	進捗状況	いずれの施策も概ね順調に進捗している。国の補助を得て進めている事業は、内示額によって進捗が左右されるため、今後も引続き予算の確保に努める必要がある。国道、県道の整備についても、期成同盟会等を通じ要望活動を行い事業の推進を図っており、今後においても重点化して、早期全線供用に向けた取組みを継続する。市民生活に身近な生活道路は、歩行者や自転車、自動車が安全で快適な通行が確保されるように、舗装や橋梁、交通安全施設などの計画的な整備を進めていく。	
	B		

進捗状況	A	B	C	D
	順調に進んでいる	概ね順調に進んでいる	やや遅れている	非常に遅れている

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-2 道路の整備

指標名	都市計画道路整備率					
	単位；%					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	64.6	64.6	64.6	64.6	64.6	64.6
年度目標	57.7	59.1	60.5	61.8	63.2	64.6
実績値	57.7	61.8	66.7	67.1		

都市計画道路整備率

年度	実績値 (%)
現況値	57.7
令和3年度	61.8
令和4年度	66.7
令和5年度	67.1

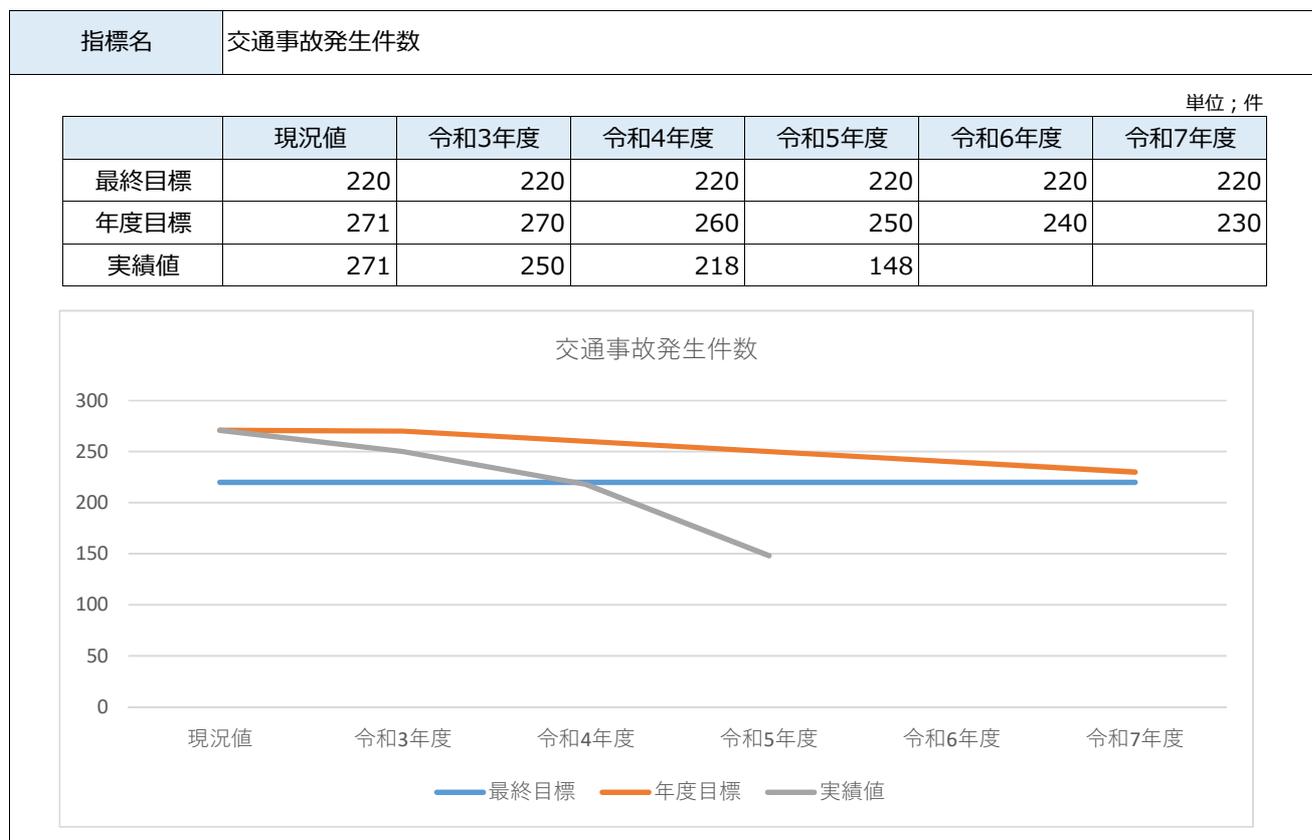
指標名	橋梁補修数					
	単位；橋					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	87	87	87	87	87	87
年度目標	13	13	18	42	61	87
実績値	13	13	18	35		

橋梁補修数

年度	実績値 (橋)
現況値	13
令和3年度	13
令和4年度	18
令和5年度	35

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】 4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-2 道路の整備



令和5年度施策評価シート



ア 施策の概要										
まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防					担当部局名	建設部			
施策番号・施策名	4-3 安心な住宅の整備					担当課所室名	建築住宅課			
現況と課題										
<p>①住宅のセーフティネットの中核を担う公営住宅の機能を高めるため、老朽化した公営住宅については、将来目標管理戸数を見据えた計画的な建替えを行う必要があります。長期に渡り安定して居住可能な耐久性を確保するためには、予防保全となる維持管理を計画的に推進する必要があります。単身者や高齢者世帯、子育て世代等の多様な居住ニーズに応じた住宅の確保が必要となっています。</p> <p>②大地震から生命や財産を守るため、防災減災機能を高める必要があります。適切な管理が行われていない空き家や、倒壊のおそれのあるブロック塀等が多数あり、周辺の生活環境に悪影響を及ぼすだけでなく、災害時に危険をもたらす可能性があるため、適正管理を促す必要があります。</p>										
イ 成果指標						※上段；目標値 下段；実績値				
指標名	単位	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	進捗状況	
公営住宅管理戸数	戸	1,800	1,800	1,798	1,732	1,674	1,608	1,279	C	
			1,800	1,862	1,856					
民間木造住宅耐震改修戸数	戸	14	20	20	12	12	12	250	C	
			9	6	4					
ウ 投入コスト										
総事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計				
	776,666	859,557	525,131			2,161,354				
エ 施策評価										
項目	評価コメント									
a 指標分析（指標目標にむかっているのか）	令和4年度より東田団地2号棟の建設工事を行っており、多様なニーズに応じた住宅確保の取組を計画的に進めている。一方、老朽化した市営住宅については、現在残っている入居者への移転の促進を積極的に行い、除却を推進していく取り組みの強化を図った。令和5年度は1団地（岸の上(上)）の除却が完了し、次年度以降も入居者の移転完了をもって順次除却を進めていく。									
b 基本計画毎の事務事業構成の適正性(施策意図を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か)										
①	4-3-1	公営住宅等の整備								
	取組方針			評価コメント						
	・入居希望者のニーズに対応した公営住宅の提供に努めます。 ・計画的な公営住宅の建替え及び改修を実施します。			新居浜市公営住宅等長寿命化計画に基づき、令和2年度から令和7年度にかけて東田団地（150戸）の建替事業（1号棟は令和4年度に完成）を行っており、単身者・高齢者・子育て世代や障がい者等、各世帯向への住宅確保が実現出来ている。また、既存の公営住宅建物についても、長期整備計画に基づき順次長寿命化を図り、安定的な住戸提供を可能にする環境を維持していく。						

	4-3-2	住宅及び住環境の整備	
		取組方針	評価コメント
②		<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化率の向上に努めます。 ・危険な建築物の解消に取り組みます。 ・危険な老朽空き家の適正管理を促します。 	<p>耐震化率については、今年度診断件数は27件と概ね目標を達成できているが、耐震改修工事まで結びついておらず、耐震化率の向上には至っていない状況である。今後についても戸別訪問や出前講座により周知広報活動を続けていく。危険な建築物及び空き家については、高齢化、人口減少等により、今後も増加する恐れがあるため、適正な管理を行うように、改善の依頼・指導等を引き続き実施するとともに、危険な状態になる前に、予防的措置をとってもらえるように広報活動を実施する。また、老朽した危険な空き家については、除却に対する補助を実施し、危険な空き家の解消を促進する。</p>
c 総合評価(施策の進捗状況と今後の展開、事業の見直し等)		進捗状況	「市営住宅の整備」については、令和2年度から令和7年度にかけて東田団地1号棟・2号棟(計150戸)の建替及び各既存住宅建物の延命化について、予定通り進捗しており、適切な機能性の確保と多様なニーズに応じた取り組みが実現できている。一方、既存老朽住宅の除却については、入居者の移転を促す取り組みを強化しており、移転が完了次第、順次除却を進めていく。「南海トラフ地震対策」としては、木造耐震診断が増加傾向にあり、耐震工事にも興味を示す方が増えてきており、防災意識の向上が見込まれる。
		C	

進捗状況	A	B	C	D
	順調に進んでいる	概ね順調に進んでいる	やや遅れている	非常に遅れている

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-3 安心な住宅の整備

指標名	公営住宅管理戸数					
	単位；戸					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	1,279	1,279	1,279	1,279	1,279	1,279
年度目標	1,800	1,800	1,798	1,732	1,674	1,608
実績値	1,800	1,800	1,862	1,856		

公営住宅管理戸数

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

指標名	民間木造住宅耐震改修戸数					
	単位；戸					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	250	250	250	250	250	250
年度目標	14	20	20	12	12	12
実績値	14	9	6	4		

民間木造住宅耐震改修戸数

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

令和5年度施策評価シート



ア 施策の概要										
まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防						担当部局名	港務局事務局		
施策番号・施策名	4-4 港湾の整備						担当課所室名	港湾課		
現況と課題										
<p>①経済のグローバル化による物流需要の増大やコンテナ船大型化をはじめとした輸送革新が進む中、変化に対応した物流機能のより一層の強化・充実が求められています。</p> <p>②自然災害時等においても、緊急物資輸送のための港湾輸送能力の確保等が求められており、大規模地震発生時に対応した施設整備が必要です。また、港湾施設、海岸保全施設の老朽化が進行しているため、適切な維持管理が必要となっています。</p> <p>③新居浜港は、古くから地域の拠点として、人々の生活や産業を支え、地域の歴史や文化の育成に貢献してきました。今後も地域住民の交流の場として、また、観光客の受入施設としての機能を高めるほか、地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりが求められています。</p>										
イ 成果指標					※上段；目標値 下段；実績値					
指標名	単位	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	進捗状況	
公共岸壁の整備率	%	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	100.0	B	
			91.7	91.7	91.7					
港湾施設の橋梁の耐震化率	%	0.0	40.0	40.0	40.0	60.0	60.0	100.0	B	
			40.0	40.0	40.0					
みなとオアシスマリンパーク新居浜年間利用者数	万人	11.8	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	C	
			9.3	10.7	11.6					
ウ 投入コスト										
総事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計				
	139,590	200,723				340,313				
エ 施策評価										
項目	評価コメント									
a 指標分析（指標目標にむかっているのか）	<p>「公共岸壁の整備」については、港湾計画の改訂作業に取り組み、菊本沖の整備に繋げて行く予定である。「港湾施設の橋梁の耐震化」については、現在、40%の耐震化率であるが、橋梁の耐震化工事を継続して実施しており、令和12年度までの100%の耐震化に向け、概ね順調に進んでいる。「みなとオアシスマリンパーク新居浜年間利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の第5類への移行を受け、利用者数は徐々に回復してきているが、目標までには到達していない。市内及び県内外から幅広い年代の方に利用されている施設であり、安全かつ快適に利用できる運営等を行い、にぎわいの創出を図り、利用者数の増加を図る。</p>									
b 基本計画毎の事務事業構成の適正性(施策意図を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か)										
①	4-4-1	物流の高度化に対応する公共ふ頭の整備								
	取組方針			評価コメント						
	<ul style="list-style-type: none"> 物流需要や輸送方法の変化に対応した港の整備を推進します。 本市域における港湾の将来像について、その方向性を検討します。 物流の変化に対応するため、関係者との連携と協力を強化します。 			令和5年度に新居浜港・東予港（東港地区）港湾脱炭素化推進計画を策定した。引き続き、事業実施に向けて関係機関と連携し、公共ふ頭の整備を推進していくため、当事業の構成は適正である。						

	4-4-2	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	
	取組方針		評価コメント
②	<ul style="list-style-type: none"> ・効果効率的な点検診断を実施します。 ・大規模地震発生時に備えた耐震化の施設整備を推進し、国土強靱化を図ります。 ・港湾、海岸保全施設の効果効率的な老朽化対策を推進します。 		令和5年度は、橋梁の耐震化工事を実施し、安全性・利便性の確保を進めている。また、港湾・海岸保全施設の計画的な点検や、点検結果に基づく老朽化対策事業を実施した。引き続き耐震化の施設整備等を推進してため、当事業の構成は適正である。
	4-4-3	港のにぎわいづくり	
	取組方針		評価コメント
③	<ul style="list-style-type: none"> ・みなとオアシスマリンパーク新居浜を中心とした港のにぎわいの創出を推進します。 ・他の観光施設との連携を強化して、にぎわいづくりを行います。 ・クルーズ船の寄港に向けた取組を推進します。 		令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、徐々にマリンパーク新居浜の利用者数も回復した。また、クルーズ船にっぽん丸の新居浜発着、長崎県杵岐島へのクルーズが実施された。引き続き、港のにぎわいづくりを推進していくため、当事業の構成は適正である。
c 総合評価(施策の進捗状況と今後の展開、事業の見直し等)	進捗状況	いずれの施策も概ね順調に進捗している。	
	B	<p>「物流の高度化に対応する公共ふ頭の整備公共ふ頭の整備」については、令和5年度に新居浜港・東予港（東港地区）港湾脱炭素化推進計画を策定した。今後、関係機関、団体等と、本市域における港湾の将来像について議論を深めていく。</p> <p>「港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化」については、耐震強化岸壁へのアクセスルートにある橋梁の耐震化を推進するとともに、維持管理計画等に基づく点検を実施し、施設の老朽化対策を推進していく。</p> <p>「港のにぎわいづくり」については、みなとオアシスマリンパーク新居浜の利用促進について検討していくとともに、クルーズ船についても、関係部署と連携して、関係機関との協議に取り組んでいく。</p>	

進捗状況	A	B	C	D
	順調に進んでいる	概ね順調に進んでいる	やや遅れている	非常に遅れている

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-4 港湾の整備

指標名	公共岸壁の整備率					
	単位 ; %					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年度目標	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7	91.7
実績値	91.7	91.7	91.7	91.7		

公共岸壁の整備率

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

指標名	港湾施設の橋梁の耐震化率					
	単位 ; %					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年度目標		40.0	40.0	40.0	60.0	60.0
実績値		40.0	40.0	40.0		

港湾施設の橋梁の耐震化率

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】 4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-4 港湾の整備

指標名	みなとオアシスマリンパーク新居浜年間利用者数					
	単位；万人					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
年度目標	11.8	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
実績値	11.8	9.3	10.7	11.6		

みなとオアシスマリンパーク新居浜年間利用者数

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

令和5年度施策評価シート



ア 施策の概要			
まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防	担当部局名	市民環境部
施策番号・施策名	4-5 防災・減災対策の推進	担当課所室名	危機管理課

現況と課題

①近年、台風や記録的豪雨による甚大な被害が全国各地で相次ぎ発生しているとともに、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されていることから、危機管理に関する組織の強化、国・県等の計画と連動した地域防災計画の見直しを行ってきましたが、あらゆるリスクを見据えた防災・減災対策に取り組み、強靱な地域づくりを推進する必要があります。防災情報の伝達手段として、防災行政無線、防災ラジオ等による充実・強化を図っていますが、防災意識のさらなる向上に向け、情報伝達手段の多様化・迅速化に対応していく必要があります。避難所については、必要な整備、備蓄を計画的に実施していますが、地域性による必要数、福祉避難所など要配慮者の多様なニーズに合わせた整備に取り組む必要があります。

災害時における自治体間の連携を推進するため、本市の受援体制及び支援体制を確立・強化していく必要があります。

②災害発生時における「自助」「共助」の取組を進めるため、現在、全校区に自主防災組織が結成されていますが、自治会単位での自主防災組織結成率は伸び悩んでおり、活動内容や組織の機能充実に取り組む必要があります。また、災害時の応急活動において中心的な役割を果たす防災士の養成を行うとともに、地域での活動を促進する必要があります。

障がいや高齢により配慮が必要な人の避難に対する支援体制づくりについて、要支援者名簿等の作成を進めていますが、平常時から取組を進める必要があります。

防災に関する知識及び技術の普及を図るため、令和2年4月に開設した防災センターについては、幅広い年代・対象に応じた内容を充実させ、防災知識・技術の普及、意識の高揚に努めていく必要があります。

③水害対策として、河川や水路、排水施設等の適正な維持管理と整備を行う必要があります。

大規模地震対策として、土砂災害、液状化現象等様々な事態を視野に入れた対策が必要となっています。

イ 成果指標 ※上段；目標値 下段；実績値

指標名	単位	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	進捗状況
災害時応援協定締結数	件	95	115	115	115	115	115	115	A
			114	117	126				
防災士資格取得者	人	579	1,179	1,279	1,379	1,479	1,579	1,579	D
			742	817	877				
防災士資格取得者（うち、女性の数）	人	121.0	200.0	250.0	300.0	350.0	395.0	395.0	D
			165.0	199.0	225.0				
雨水ポンプ場設備が健全度2以下になることを抑止する割合	%	0	2	4	5	7	9	18	D
			2	3	3				

ウ 投入コスト

総事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
	38,404	27,275				65,679

エ 施策評価

項目	評価コメント
a 指標分析（指標目標にむかっているのか）	災害時応援協定については、各分野における事業者との協議により理解を得られ締結が進み、目標値に達している。防災士資格取得者は進捗しているが目標値に達することは厳しい状況である。雨水ポンプ場整備に関しては今のところ順調に進んでいる。

b 基本計画毎の事務事業構成の適正性(施策意図を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か)

①	4-5-1 防災・減災対策の強化	取組方針	評価コメント
		<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化地域計画及び地域防災計画に基づき、強く、しなやかで活力のある地域づくりを進めます。 社会変化及び多様化に対応した防災情報伝達手段を検討します。 様々な人の立場に立った避難所の環境整備に努めます。 災害時の広域連携に向けた危機管理体制を強化します。 	令和3年度において当市地域防災計画の修正が完了し、令和4年度に全校区の地区防災計画の策定が完了した。避難所の環境整備については、小中学校への備蓄物資（食料品、衛生用品等）や資機材を順次配布（使用期限が迫る備蓄物資については順次入替）した。令和5年度には事業所等との災害時応援協定締結件数は9件締結し、災害時における連携強化を図ることができた。今後も、防災・減災対策の強化を図るために、引き続き当該事業を推進することが妥当である。

	4-5-2	地域防災力の強化	
	取組方針		評価コメント
②	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織への支援を充実し、組織の活性化を図ります。 ・防災士の養成及び活躍の場の創出を図ります。 ・関係機関・団体と連携し、避難行動要支援者対策を図ります。 ・市民の防災知識及び技術の普及に努めます。 		<p>地区防災計画は、市内全18校区・地区で作成が完了している。防災士については、スキルアップ研修等により資質向上を図り、県の防災士養成講座を活用して新たに60人が資格を取得し、地域防災リーダーの充実に図られた。避難行動要支援者については、今後、個別避難計画の作成を円滑に推進するために、避難支援等関係者と連携して支援体制づくりを進める必要がある。市民に対しては、防災センターの体験学習や出前講座等により、市民の防災知識の普及啓発を図っており、更に防災・減災意識の高揚を図るために継続していく。</p> <p>今後も、地域防災力の強化を図るために、引き続き当該事業を推進することが妥当と考える。</p>
	4-5-3	災害に備えた河川・排水施設の維持管理と整備推進	
	取組方針		評価コメント
③	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の整備及び適正な維持管理を推進します。 ・効果効率的な排水施設の維持管理及び改築更新を推進します。 ・国・県等と連携を図り、耐震化等の対策を推進します。 ・県管理河川整備及び土砂災害対策事業の推進を図ります。 		<p>愛媛県と連携し、河川の適正な維持管理を進めるとともに、東川をはじめとする河川整備計画の策定や河川整備への着手など防災・減災対策が進んでいる。また、ポンプ場、樋門等の排水施設についても、適正な維持管理をおこなうとともに、順次耐震診断を実施し、改築・更新と一体的に耐震化を進めるなど効果・効率的な事業実施を図っている。今後も、河川、排水施設などの維持管理と整備推進について、愛媛県などと連携しながら一体的に進めていく必要がある。</p>
c 総合評価(施策の進捗状況と今後の展開、事業の見直し等)		進捗状況	<p>指標目標に向かって順調に取組が進められているが、一部事業に関しては進捗が厳しい状況にある。</p> <p>防災・減災対策については、各種計画の見直し、改定が適切に進められており、設備や協定等に関してもおおむね順調に進展している。今後も、当該事業を継続するとともに、法改正等による計画見直し、放送伝達設備の経年劣化等に対応した更新整備の検討、先進技術の導入等による情報伝達手段の強化を図っていくことが重要である。</p> <p>地域防災力の強化については、地区防災計画が全校区・地区で作成されたことから、今後は計画の実行や見直しを支援するとともに、地域防災リーダーの養成、市民の防災知識の普及啓発を進め、市民一人ひとりの防災意識の向上を図るために、事業を継続する必要がある。特に、避難行動要支援者対策は、避難支援等関係者と連携が重要である。河川・排水施設の維持管理と整備推進については、河川整備、施設の耐震化などの防災対策に多くの時間と費用を要するが、優先順位を付け着実に取り組むと共に、特に減災対策に力を入れていく必要がある。</p>
		B	

進捗状況	A	B	C	D
	順調に進んでいる	概ね順調に進んでいる	やや遅れている	非常に遅れている

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-5 防災・減災対策の推進

指標名	災害時応援協定締結数					
	単位；件					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	115	115	115	115	115	115
年度目標	95	115	115	115	115	115
実績値	95	114	117	126		

災害時応援協定締結数

年度	実績値
現況値	95
令和3年度	114
令和4年度	117
令和5年度	126

指標名	防災士資格取得者					
	単位；人					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	1,579	1,579	1,579	1,579	1,579	1,579
年度目標	579	1,179	1,279	1,379	1,479	1,579
実績値	579	742	817	877		

防災士資格取得者

年度	実績値
現況値	579
令和3年度	742
令和4年度	817
令和5年度	877

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-5 防災・減災対策の推進

指標名	防災士資格取得者（うち、女性の数）					
	単位；人					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	395.0	395.0	395.0	395.0	395.0	395.0
年度目標	121.0	200.0	250.0	300.0	350.0	395.0
実績値	121.0	165.0	199.0	225.0		

防災士資格取得者（うち、女性の数）

項目	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	395.0	395.0	395.0	395.0	395.0	395.0
年度目標	121.0	200.0	250.0	300.0	350.0	395.0
実績値	121.0	165.0	199.0	225.0		

指標名	雨水ポンプ場設備が健全度2以下になることを抑止する割合					
	単位；%					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	18	18	18	18	18	18
年度目標		2	4	5	7	9
実績値		2	3	3		

雨水ポンプ場設備が健全度2以下になることを抑止する割合

項目	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	18	18	18	18	18	18
年度目標		2	4	5	7	9
実績値		2	3	3		

令和5年度施策評価シート



ア 施策の概要			
まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防	担当部局名	市民環境部
施策番号・施策名	4-6 生活安全対策の推進	担当課所室名	危機管理課

現況と課題	
<p>①本市の人口当たりの交通事故発生件数は、県内他市と比べて高い状況にあり、事故削減のためには、交通マナーの向上や交通安全意識の普及・啓発を図る必要があります。</p> <p>自動車の運転に不安のある市民に対して、免許返納を促進するため、運転経歴証明書の発行手数料等を助成していますが、返納後の生活も踏まえたサービス等を充実させる必要があります。</p> <p>高齢ドライバーの運転操作誤りによる重大事故が多発する中、事故発生を抑制するため、安全運転支援装置の導入が進められていることから、普及促進に努めていく必要があります。</p> <p>②防犯団体、警察、教育機関、行政の連携により、活発な防犯活動を展開していますが、未成年者の犯罪件数は依然として多い傾向にあります。防犯カメラの設置等により犯罪抑止が図られていますが、防犯活動は継続が必要であり、関係団体の支援を継続する必要があります。</p> <p>③悪質商法や多重債務などの消費者問題に対応するため、消費生活相談を実施していますが、スマートフォンの普及によるネットトラブルの増加等、問題は複雑・多様化しており、相談体制の充実・強化を図る必要があります。特に高齢者等をターゲットにした消費者トラブルが増加していることから、関係機関と連携して被害防止のための見守り活動を充実する必要があります。</p> <p>消費者学習講座等の開催、市政だより・ホームページ等を通じた消費者問題に関する情報提供・啓発に努めていますが、商品や製品に関する消費者トラブルが相次いでおり、若年層も含めた消費者教育の実施を通して、消費者問題への関心を高める必要があります。</p> <p>④現在、市内量販店等への商品量目立入検査、特定計量器の定期検査及び計量に関する普及啓発活動を実施していますが、さらなる計量の適正化に努める必要があります。</p>	

イ 成果指標				※上段；目標値 下段；実績値					
指標名	単位	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	進捗状況
交通事故発生件数	件	271	270	260	250	240	230	220	A
			250	218	148				
犯罪発生件数	件	573	500	490	480	470	460	450	A
			487	512	458				
消費生活相談における助言・あっせんによる解決率	%	78.3	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	A
			80.3	84.0	91.8				
商品量目立入検査・不適正（不足）率	%	4.5	4.5	4.0	3.5	3.0	2.5	2.2	A
			2.8	2.7	2.3				

ウ 投入コスト							
総事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
	18,186	18,892				37,078	

エ 施策評価	
項目	評価コメント
a 指標分析（指標目標にむかっているのか）	<p>交通事故発生件数は、高齢者交通安全対策事業等の取組により、目標値を達成できた。また、犯罪発生件数についても、新居浜地区防犯協会及びその各支部の活動が防犯意識の向上につながったことなどにより、目標値を達成できた。</p> <p>消費生活相談に関しては、複雑多様化する消費者被害に対し、消費生活相談員が適宜研修を受講するなど、スキルアップに努めた結果、適切な対応ができ、目標値を大幅に上回る数値となり、年々成果が上がっている。</p> <p>計量器の適正な使用のための検査や啓発活動については、販売品の量目検査を量販店に対し抜き打ちで実施したが、目標値を上回る数値となり、年々成果が上がっている。</p>

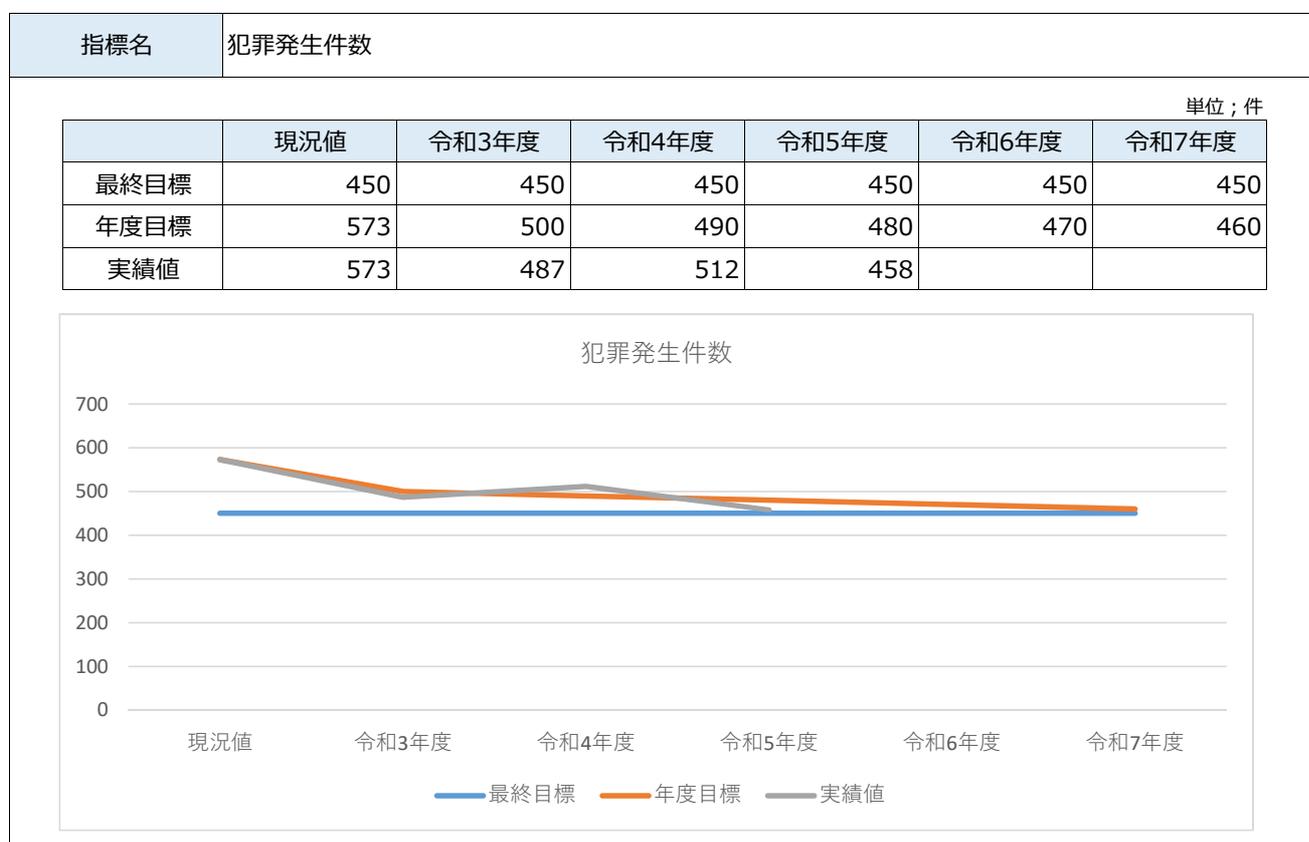
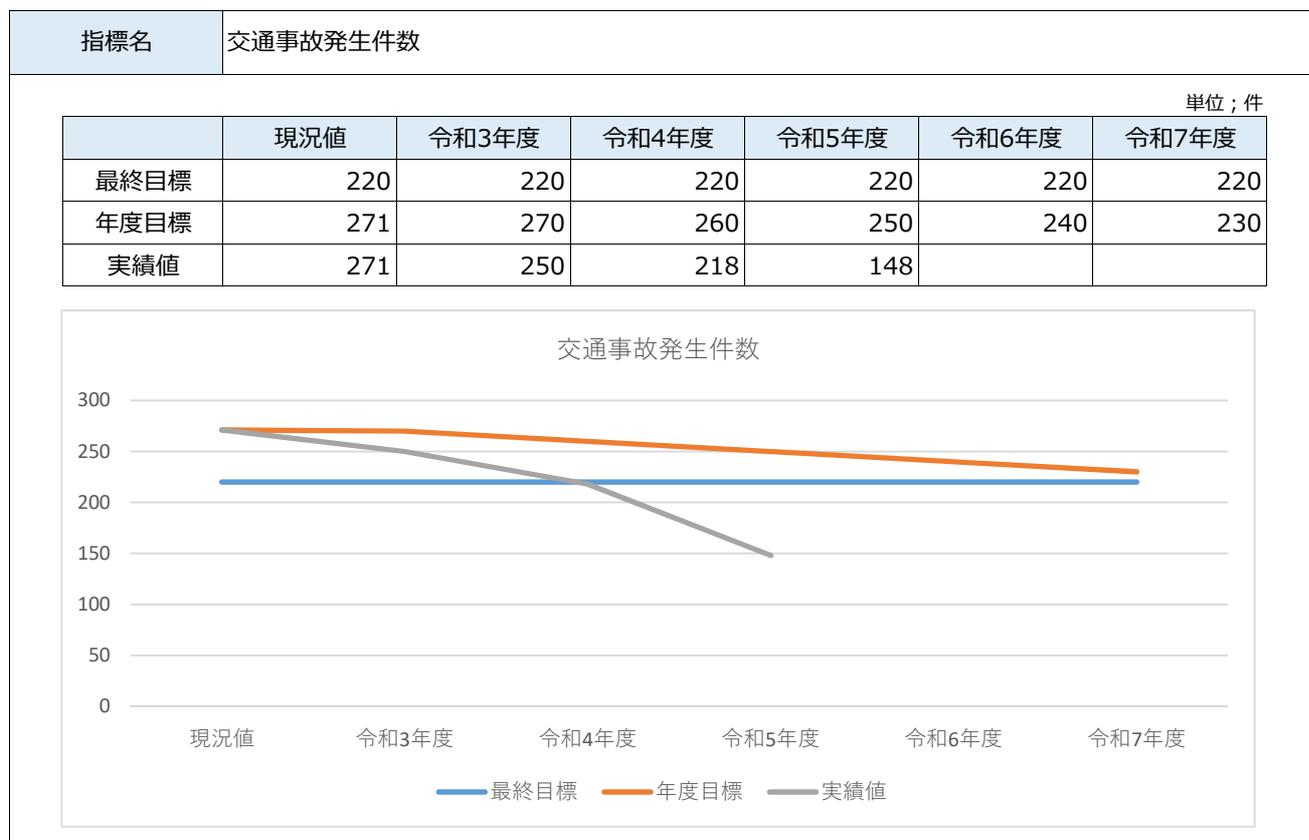
b 基本計画毎の事務事業構成の適正性(施策意図を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か)					
①	4-6-1 交通安全対策の推進				
	<table border="1"> <tr> <th>取組方針</th> <th>評価コメント</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育の充実に努めます。 運転免許返納に関する助成制度の充実に努めます。 関係団体・企業と連携して、安全運転支援の推進を図ります。 </td> <td> <p>新居浜市内では毎年交通死亡事故が発生しており、交通法規の遵守、交通安全意識の高揚について、教育・啓発を継続して実施していくことが重要である。高齢者の交通事故減少のため、新居浜交通安全協会に委託し、高齢者を対象とした交通安全教室や、地域の事故危険箇所等における立哨活動等を実施した。また、運転免許証自主返納促進事業では、536件の申請手数料等の助成を行い、高齢ドライバーの運転免許証自主返納支援を通じ、事故防止の一助となっていると考える。このほかにも、各年代の特性に応じた交通安全教室を令和5年度は合計141回実施し、6,821人が受講した。以上のことから、今後も生活安全対策の推進のため、当該事業は妥当であるとする。</p> </td> </tr> </table>	取組方針	評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育の充実に努めます。 運転免許返納に関する助成制度の充実に努めます。 関係団体・企業と連携して、安全運転支援の推進を図ります。 	<p>新居浜市内では毎年交通死亡事故が発生しており、交通法規の遵守、交通安全意識の高揚について、教育・啓発を継続して実施していくことが重要である。高齢者の交通事故減少のため、新居浜交通安全協会に委託し、高齢者を対象とした交通安全教室や、地域の事故危険箇所等における立哨活動等を実施した。また、運転免許証自主返納促進事業では、536件の申請手数料等の助成を行い、高齢ドライバーの運転免許証自主返納支援を通じ、事故防止の一助となっていると考える。このほかにも、各年代の特性に応じた交通安全教室を令和5年度は合計141回実施し、6,821人が受講した。以上のことから、今後も生活安全対策の推進のため、当該事業は妥当であるとする。</p>
	取組方針	評価コメント			
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育の充実に努めます。 運転免許返納に関する助成制度の充実に努めます。 関係団体・企業と連携して、安全運転支援の推進を図ります。 	<p>新居浜市内では毎年交通死亡事故が発生しており、交通法規の遵守、交通安全意識の高揚について、教育・啓発を継続して実施していくことが重要である。高齢者の交通事故減少のため、新居浜交通安全協会に委託し、高齢者を対象とした交通安全教室や、地域の事故危険箇所等における立哨活動等を実施した。また、運転免許証自主返納促進事業では、536件の申請手数料等の助成を行い、高齢ドライバーの運転免許証自主返納支援を通じ、事故防止の一助となっていると考える。このほかにも、各年代の特性に応じた交通安全教室を令和5年度は合計141回実施し、6,821人が受講した。以上のことから、今後も生活安全対策の推進のため、当該事業は妥当であるとする。</p>				

	4-6-2	防犯対策の推進	
		取組方針	評価コメント
②		<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体、警察、教育機関等と連携して、防犯啓発と防犯活動への支援を行います。 安全で安心して暮らせる、犯罪の起きにくい街の実現のため、防犯カメラの設置を推進します。 	<p>新居浜地区防犯協会の事業運営補助を行った。新居浜地区防犯協会では、防犯責任者講習、新居浜警察署と連携した啓発イベント、地域での特殊詐欺被害防止講座等を実施したほか、防犯協会各支部における活動の成果等により、市民の防犯意識の高揚が図られ、令和5年度の新居浜警察署管内における刑法犯認知件数は、令和4年度から54件減の458件となった。このほか、新居浜地区防犯協会が実施する防犯カメラ設置事業の補助を行い、令和5年度は弁財天公園及び図書館に防犯カメラを新設し、犯罪抑止効果や犯罪発生後の早期解決のための有効な手段となっているものと考えられる。以上のことから、今後も生活安全対策の推進のため、当該事業は妥当であると考えられる。</p>
	4-6-3	消費者の自立支援と相談体制の充実	
		取組方針	評価コメント
③		<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談の充実と新たな消費者問題への対応を図ります。 学校や関係機関、団体との連携により、消費者被害の未然防止を進めます。 消費者の自立支援に向け、幅広い世代に対する消費生活上への意識啓発、消費者教育を推進します。 	<p>消費生活相談は複雑多様化するとともに、新たな手法の被害も見受けられ、相談員の負担は増大しているが、研修にも積極的に参加し、知識の習得に努めるなど、真摯に取り組んでいる。また、個別の相談対応だけでなく、学校、各種団体、地域等幅広い世代に対して出前講座を実施し、消費者被害の未然防止、消費者教育の推進に努めており、当該事業は妥当である。</p>
	4-6-4	適正な計量の推進	
		取組方針	評価コメント
④		<ul style="list-style-type: none"> 適正な計量取引の推進を図ります。 計量検査体制の充実強化を図ります。 	<p>日常生活の中で使用される様々な計量器は市民生活に欠かせない重要なものであるため、正確に使用され、適切な検査を受ける必要がある。また、安全で安心な日常生活を守るためには、機器を使用する市民や事業者への啓発も重要となる。</p> <p>引き続きこれらに堅実に取り組んでいくために、当該事業は妥当である。</p>
c 総合評価(施策の進捗状況と今後の展開、事業の見直し等)	進捗状況	<p>交通安全対策については、高齢者交通安全対策事業等の取組や教育・啓発活動等の実施により、交通事故発生件数は減少傾向で推移している。毎年死亡事故が発生しているほか、高齢者の事故の構成率が高く、今後もこれまでの事業の枠組みを継続し、特に高齢者の交通事故防止対策に取り組んでいく必要がある。</p> <p>防犯対策については、犯罪件数は減少傾向で推移しているが、少年の非行防止、特殊詐欺等の被害防止等について、今後も取組を継続していく必要がある。</p> <p>消費者問題の対応については、ますます複雑・多様化する消費者被害を防ぐためにも、様々な対象に様々な手法を用いた啓発活動を行い、また、消費者被害に速やかに対応するために、消費生活相談員のスキルアップに努める必要がある。</p> <p>安全で安心な日常生活を守るため、適正な計量の重要性について市民や事業者への啓発に力を入れるとともに、計量検査体制の強化充実を図り、引き続き堅実に取り組んでいく。</p>	
	B		

進捗状況	A	B	C	D
	順調に進んでいる	概ね順調に進んでいる	やや遅れている	非常に遅れている

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-6 生活安全対策の推進



成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-6 生活安全対策の推進

指標名	消費生活相談における助言・あっせんによる解決率					
	単位；%					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
年度目標	78.3	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
実績値	78.3	80.3	84.0	91.8		

消費生活相談における助言・あっせんによる解決率

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

指標名	商品量目立入検査・不適正（不足）率					
	単位；%					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
年度目標	4.5	4.5	4.0	3.5	3.0	2.5
実績値	4.5	2.8	2.7	2.3		

商品量目立入検査・不適正（不足）率

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

令和5年度施策評価シート



ア 施策の概要			
まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防	担当部局名	消防本部
施策番号・施策名	4-7 消防体制の充実	担当課所室名	消防総務課

現況と課題	
<p>① 警防体制の充実に向け、職員定数の改正、消防防災合同庁舎の建設整備、通信指令設備の更新、消防車両・資機材の計画的な整備を図ってきましたが、南海トラフ巨大地震等の大規模災害発生に備えた初動体制を強化するとともに、消防の広域連携の強化を図る必要があります。</p> <p>また、大島・別子山地区については、高齢化や人口減少、地理的要因により消防力の低下が懸念されており、災害時における自衛消防力の強化が求められています。</p> <p>② 住宅用火災警報器の設置については、関係団体と連携した広報を実施してきましたが、設置率は全国等の平均を下回っており、維持管理を含めた更なる対策が必要です。また、全国的に危険物・高圧ガス施設等での事故件数は増加傾向にあり大規模地震の発生や施設の老朽化等による災害リスクの高まりが懸念されることから、保安対策の推進が求められています。さらに、利用者の安全確保に向けた違反対象物の是正指導、複雑・多様化する火災の原因調査等、火災予防への広範な対策に取り組む必要があります。</p> <p>③ 救急救助体制の充実に向け、応急手当の普及拡大を目指した救急講習会の開催、救急救命士等の有資格者の養成を図っていますが、高齢化の進展等により、救急件数は増加の一途をたどっていることから、救急医療の高度化に対応した救急救命士の育成及び医療機関と連携したメディカルコントロール体制の強化が求められています。また、救急救助事業の複雑・高度化に対応するため、救急隊員の技能向上が求められています。</p> <p>④ 地域の安全・安心を守る消防団は、社会情勢の変化等により団員数が減少傾向にあり、活動に支障をきたす等、地域防災力の低下が懸念されています。また、消防団の活動拠点となる詰所についても、老朽化が進んでいることから、計画的な施設整備を図っていく必要があります。</p>	

イ 成果指標				※上段；目標値 下段；実績値					
指標名	単位	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	進捗状況
消防職員充足率（消防職員定数に対する職員の充足率）	%	81.7	85.1	86.8	88.5	90.2	91.9	100.0	B
			87.8	91.5	91.5				
出火率（人口1万人当たりの年間火災発生件数）	件	2.44	2.40	2.30	2.20	2.20	2.15	2.00	B
			3.43	3.09	2.54				
実働救命士充足率（救急車6台の安定運用に必要な実働救命士の充足率）	%	63.9	80.0	82.5	85.0	87.5	90.0	100.0	A
			77.8	88.8	91.7				
消防団員の充足率（消防団員定数に対する団員の充足率）	%	90.8	92.4	93.2	94.0	94.8	95.6	100.0	C
			84.6	84.5	84.0				

ウ 投入コスト						
総事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
	258,940	129,320				388,260

エ 施策評価	
項目	評価コメント
a 指標分析（指標目標にむかっているのか）	<p>・消防職員充足率については、前年度から横這いとなっているが、職員の採用を計画的に進めていることから目標値に向かって概ね順調に進んでいます。</p> <p>・出火率については、火災予防への対策効果が表れた結果、前年度から0.55件減少しており、概ね順調に進んでいます。実働救命士の充足率については、有資格者の採用や新規養成により前年度から2.9%上昇し、目標値に向かって順調に進んでいます。</p> <p>・消防団員の充足率については、少子高齢化や社会情勢の変化等により前年度から0.5%降下し、目標値に向かってやや遅れています。</p>

b 基本計画毎の事務事業構成の適正性(施策意図を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か)					
4-7-1	警防体制の充実				
	<table border="1"> <tr> <th>取組方針</th> <th>評価コメント</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の初動体制の強化及び人材育成の充実を図ります。 ・公共施設の再編も踏まえた南消防庁舎等の機能強化を検討します。 ・消防自動車及び資機材の計画的な整備を図ります。 ・離島、遠隔地の自衛消防力の強化に努めます。 </td> <td> <p>指揮体制や部隊運用を目的とした合同訓練を実施することで各種災害における初動体制の強化を図りました。また、学校派遣や資格取得により知識・技術の向上を目指すとともに、他の職員へフィードバックすることで人材育成の充実を図りました。南消防署等の総合的な機能強化については、早急な対応が必要なことから、建設を前倒した新たなスケジュールを決定するとともに、更なる消防機能強化のため、東予東部圏域の消防通信指令業務を共同で運用する消防通信指令センターを併設することを決定しました。消防自動車及び資機材の計画的な整備については、更新計画に基づき適正に更新整備を行いました。離島、遠隔地の自衛消防力の強化については、定期的は大島及び別子山に職員を派遣し、地水利調査等を行うとともに地域住民への防災講習を実施しました。以上のことから、警防体制の充実を図るための手段の構成は妥当であり有効に機能しています。</p> </td> </tr> </table>	取組方針	評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の初動体制の強化及び人材育成の充実を図ります。 ・公共施設の再編も踏まえた南消防庁舎等の機能強化を検討します。 ・消防自動車及び資機材の計画的な整備を図ります。 ・離島、遠隔地の自衛消防力の強化に努めます。 	<p>指揮体制や部隊運用を目的とした合同訓練を実施することで各種災害における初動体制の強化を図りました。また、学校派遣や資格取得により知識・技術の向上を目指すとともに、他の職員へフィードバックすることで人材育成の充実を図りました。南消防署等の総合的な機能強化については、早急な対応が必要なことから、建設を前倒した新たなスケジュールを決定するとともに、更なる消防機能強化のため、東予東部圏域の消防通信指令業務を共同で運用する消防通信指令センターを併設することを決定しました。消防自動車及び資機材の計画的な整備については、更新計画に基づき適正に更新整備を行いました。離島、遠隔地の自衛消防力の強化については、定期的は大島及び別子山に職員を派遣し、地水利調査等を行うとともに地域住民への防災講習を実施しました。以上のことから、警防体制の充実を図るための手段の構成は妥当であり有効に機能しています。</p>
取組方針	評価コメント				
<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の初動体制の強化及び人材育成の充実を図ります。 ・公共施設の再編も踏まえた南消防庁舎等の機能強化を検討します。 ・消防自動車及び資機材の計画的な整備を図ります。 ・離島、遠隔地の自衛消防力の強化に努めます。 	<p>指揮体制や部隊運用を目的とした合同訓練を実施することで各種災害における初動体制の強化を図りました。また、学校派遣や資格取得により知識・技術の向上を目指すとともに、他の職員へフィードバックすることで人材育成の充実を図りました。南消防署等の総合的な機能強化については、早急な対応が必要なことから、建設を前倒した新たなスケジュールを決定するとともに、更なる消防機能強化のため、東予東部圏域の消防通信指令業務を共同で運用する消防通信指令センターを併設することを決定しました。消防自動車及び資機材の計画的な整備については、更新計画に基づき適正に更新整備を行いました。離島、遠隔地の自衛消防力の強化については、定期的は大島及び別子山に職員を派遣し、地水利調査等を行うとともに地域住民への防災講習を実施しました。以上のことから、警防体制の充実を図るための手段の構成は妥当であり有効に機能しています。</p>				

	4-7-2	予防体制の充実	
	取組方針		評価コメント
②	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体と連携した住宅防火の推進を図ります。 企業における保安・防災対策の推進を図ります。 予防査察及び火災調査体制等の充実強化を図ります。 類似火災防止に向けた予防広報の推進を図ります。 		<p>防火管理協会や婦人防火クラブ等の外郭団体や、県LPガス協会等と連携、さらに市内各地域の連合自治会等へ共同購入の協力依頼を実施し、住宅用火災警報器の普及啓発を含めた火災予防に関する広報を実施しました。令和5年度の全国設置率調査においては、県平均を上回る実績を得ました。また、特別防災区域内の事業所との定期的な会合や立入等を通じて、保安防災対策についての指導等を行いました。予防査察の充実強化については、検査率の向上策として高い水準で実施率を設定し、計画的に予防査察を実施、防火対象物の違反是正に努めました。また、職員を対象とした研修会等の実施により、火災調査体制の充実強化を図りました。さらには、各種広報媒体を利用し、類似火災防止を含めた全般的な火災予防に関する広報を実施しました。消防広報活動の活性化を図るため、令和5年度末に広報要綱を作成し、消防広報官を配置する予定です。以上のことから、予防体制の充実を図るための手段の構成は妥当であり有効に機能しています。</p>
	4-7-3	救急救助体制の充実	
	取組方針		評価コメント
③	<ul style="list-style-type: none"> 救急救助資機材の計画的な更新整備を図ります。 基幹病院を中心にメディカルコントロール体制の強化を図ります。 応急手当の普及促進を図ります。 救急救命士等、有資格者の養成を図ります。 救急救助技術の高度化を推進します。 		<p>救急救助資機材は、多数傷病者事案・潜水救助事案・山岳救助事案に対応する資機材の整備を行いました。また、メディカルコントロール体制の強化については、各基幹病院での研修に職員を派遣し、連携強化を図りました。応急手当については、令和5年度に町の救命士講習を17回385名、入門コース24回558名、一般講習67回3319名に対して行いました。また、有資格者の養成につきましては、救急救命士1名、救急科4名を派遣し資格者の養成を図りました。救急救助技術の高度化については、全国シンポジウムなど各学会へ参画するとともに、特別救助隊員として3名の認定を行いました。以上のことにより救急救助体制の充実を図るための手段の構成は妥当であり有効に機能しています。</p>
	4-7-4	消防団の活性化	
	取組方針		評価コメント
④	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の確保に向けた取組を進めます。 消防団詰所の計画的な改修を図ります。 消防団車両、資機材の計画的な整備を図ります。 地域防災力の向上につながる消防団員の人材育成に努めます。 消防団活動を積極的に広報し、消防団の活性化を推進します。 		<p>消防団員の確保に向けた取組として、各種広報媒体を活用した加入促進を行ったほか、「消防団の力向上モデル事業」を活用し、今後消防団の担い手となる高校生等へ加入促進を図りました。また、消防団詰所の計画的な改修を行うとともに、消防団車両、資機材等について計画的に更新整備を行いました。地域防災力の向上につながる人材を育成するため、教養訓練の実施や自主防災組織との連携を図りました。消防団活動を積極的に広報し、消防団の活性化を推進するため、消防団加入促進PR動画を作成するなどの積極的な広報活動を展開しました。以上のことから、消防団の活性化を実現するための手段の構成は妥当であり、概ね有効に機能しています。</p>
c 総合評価(施策の進捗状況と今後の展開、事業の見直し等)	進捗状況		<p>成果指標のうち、実働救命士充足率については、順調に進捗している。消防職員充足率については、前年と横這いに推移しているが実績値としては、概ね順調である。出火率については、前年度から数値が低下しており、取組に対する一定の成果が発揮されているが、更なる火災予防広報の推進により予防体制の充実強化を目指します。消防団の充足率については、少子高齢化や社会情勢の変化等により減少傾向であるが、消防団詰所・消防団車両・資機材等を計画的に整備するとともに、消防団員の確保に向け、積極的に消防団活動を広報することにより消防団の活性化を図ります。</p>
	B		

進捗状況	A	B	C	D
	順調に進んでいる	概ね順調に進んでいる	やや遅れている	非常に遅れている

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-7 消防体制の充実

指標名	消防職員充足率（消防職員定数に対する職員の充足率）					
	単位；%					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年度目標	81.7	85.1	86.8	88.5	90.2	91.9
実績値	81.7	87.8	91.5	91.5		

消防職員充足率（消防職員定数に対する職員の充足率）

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

指標名	出火率（人口1万人当たりの年間火災発生件数）					
	単位；件					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
年度目標	2.44	2.40	2.30	2.20	2.20	2.15
実績値	2.44	3.43	3.09	2.54		

出火率（人口1万人当たりの年間火災発生件数）

— 最終目標 — 年度目標 — 実績値

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-7 消防体制の充実

指標名	実働救命士充足率（救急車6台の安定運用に必要な実働救命士の充足率）					
	単位；%					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年度目標	63.9	80.0	82.5	85.0	87.5	90.0
実績値	63.9	77.8	88.8	91.7		

実働救命士充足率（救急車6台の安定運用に必要な実働救命士の充足率）

The chart displays three data series: '最終目標' (Final Goal) as a horizontal blue line at 100.0%, '年度目標' (Annual Target) as an orange line increasing from 63.9% to 90.0%, and '実績値' (Actual Value) as a grey line increasing from 63.9% to 91.7% by Heisei 30. The x-axis represents the years from '現況値' to '令和7年度', and the y-axis represents the percentage from 0.0 to 120.0.

指標名	消防団員の充足率（消防団員定数に対する団員の充足率）					
	単位；%					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年度目標	90.8	92.4	93.2	94.0	94.8	95.6
実績値	90.8	84.6	84.5	84.0		

消防団員の充足率（消防団員定数に対する団員の充足率）

The chart displays three data series: '最終目標' (Final Goal) as a horizontal blue line at 100.0%, '年度目標' (Annual Target) as an orange line increasing from 90.8% to 95.6%, and '実績値' (Actual Value) as a grey line that starts at 90.8%, drops to 84.6% in Heisei 30, and remains at 84.0% in Heisei 31. The x-axis represents the years from '現況値' to '令和7年度', and the y-axis represents the percentage from 75.0 to 105.0.

令和5年度施策評価シート



ア 施策の概要										
まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防					担当部局名	経済部			
施策番号・施策名	4-8 運輸交通体系の整備					担当課所室名	地域交通課			
現況と課題										
<p>①高齢化の進行により、自動車を運転しない高齢者の増加、高齢者による事故の増加が懸念されています。また駅やバス停から離れて居住している人口が約3割を占めており、既存のバス路線の利便性向上や、交通結節点である新居浜駅周辺の利用促進及び駅南側からのアクセス性向上が必要となります。同時に、利用者の増加を図るため、人口集中地区及び人口の増加が見込まれる地区へ路線を配置することにより、バス交通圏域の人口増を図る必要があります。</p> <p>また、本市渡海船については、大島住民の通勤、通学、通院、買い物等、「生活福祉航路」として行政が直営で運航しているが、運賃収入等の増加が見込めない中、配船計画の見直しや、船舶の小型化により安定的な運営を図ることが課題となっています。</p> <p>②高齢化が進む中、マイカーに頼らなくても移動できる環境整備が求められています。既存の移動サービスである、鉄道、バス、タクシーの利便性向上に加え、新しい移動サービスの導入が求められています。</p> <p>また、四国への新幹線導入を目指し、愛媛県内外での機運醸成を図っていますが、実現には至っておりません。早期に、基本計画を整備計画へ格上げするための継続した取組が求められています。</p>										
イ 成果指標						※上段；目標値 下段；実績値				
指標名	単位	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	進捗状況	
公共交通（バス・デマンドタクシー）の利用者数	万人	39	44	46	46	45	45	42	C	
			25	26	28					
渡海船事業収支率	%	8.7	7.9	7.7	7.4	7.2	7.0	6.0	B	
			7.6	6.2	7.7					
新居浜駅乗降人員数	万人	142	105	110	115	120	125	150	C	
			112	132	143					
ウ 投入コスト										
総事業費（千円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計				
	163,385	187,997				351,382				
エ 施策評価										
項目	評価コメント									
a 指標分析（指標目標にむかっているのか）	デマンドタクシーについては、川西エリアの導入により4エリアでの運行体制が整ったが、川西エリアの利用者が伸び悩んでいる。路線バスについては、コロナ後徐々に回復傾向にあるものの、コロナ前の状況には戻っておらず、燃料費等運行経費の増に伴い市負担額が増大している。渡海船については、1日15便から13便に減便して経営改善に取り組んだが、継続した取組が必要である。									
b 基本計画毎の事務事業構成の適正性(施策意図を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か)										
①	4-8-1	公共交通の維持・整備								
	取組方針				評価コメント					
	<ul style="list-style-type: none"> 市民・交通事業者・行政の協働により、本市の公共交通を維持します。 「JICA」外なまちづくりを先導する、便利で使いやすい持続可能な公共交通網の形成を図ります。 渡海船の安定的な運営を図るため、運営体制等、全体的な見直しを行います。 				「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えのもと、市民生活を支える持続可能な公共交通体系の構築に向け「新居浜市地域公共交通計画」を策定した、今後は、路線バスの見直し（再編）等、計画の具現化に向けた取組が求められている。渡海船については、経営改善を図るため、減便を行ったが、今後は、新造船の建造も視野に入れ、安定的な運営体制の見直しを行っていく必要がある。					

	4-8-2	新しい移動サービスの導入	
		取組方針	評価コメント
②		<p>・出発地から目的地までの移動コース*に対して、リアルタイムでの運行情報の提供等、利便性の高い移動サービスの導入に向けた検討を進めます。</p> <p>・四国新幹線導入に向け、関係機関への要望活動を行います。</p>	<p>川西地区デマンドタクシーにおいて、スマホアプリを活用した予約・配車システムを導入したが、高齢者の利用者が多くスマホアプリの活用者が少ない状況であり、今後、全市展開していくのか、慎重に判断していく必要がある。また、バス事業者が実施するバスロケーションシステムとの連携など、市民の利便性向上に向けた取組を更に進めていく必要がある。四国新幹線については、愛媛県新幹線導入促進期成同盟会の一員として、引き続き実現に向けて、各市町と連携した取り組みが求められている。</p>
c 総合評価(施策の進捗状況と今後の展開、事業の見直し等)	進捗状況	<p>市民生活を支える持続可能な公共交通体系の構築に向け「新居浜市地域公共交通計画」を策定したが、いかにこの計画を具現化していくかが、今後の重要課題であり、中でも地域公共交通の要である路線バスの利便性を向上させ、効率的な運行となるようバス路線の見直し（再編）が急務である。渡海船についても、減便による一定の経営改善を図ったものの、安定的な経営を図るためには、新造船の建造も視野に入れた運営体制を見直す必要がある。</p>	
	B		

進捗状況	A	B	C	D
	順調に進んでいる	概ね順調に進んでいる	やや遅れている	非常に遅れている

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-8 運輸交通体系の整備

指標名	公共交通（バス・デマンドタクシー）の利用者数					
	単位；万人					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	42	42	42	42	42	42
年度目標	39	44	46	46	45	45
実績値	39	25	26	28		

公共交通（バス・デマンドタクシー）の利用者数

項目	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	42	42	42	42	42	42
年度目標	39	44	46	46	45	45
実績値	39	25	26	28		

指標名	渡海船事業収支率					
	単位；%					
	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
年度目標	8.7	7.9	7.7	7.4	7.2	7.0
実績値	8.7	7.6	6.2	7.7		

渡海船事業収支率

項目	現況値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
最終目標	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
年度目標	8.7	7.9	7.7	7.4	7.2	7.0
実績値	8.7	7.6	6.2	7.7		

成果指標

まちづくりの目標	【基本目標】4 都市基盤・防災・防犯・消防
施策番号・施策名	4-8 運輸交通体系の整備

